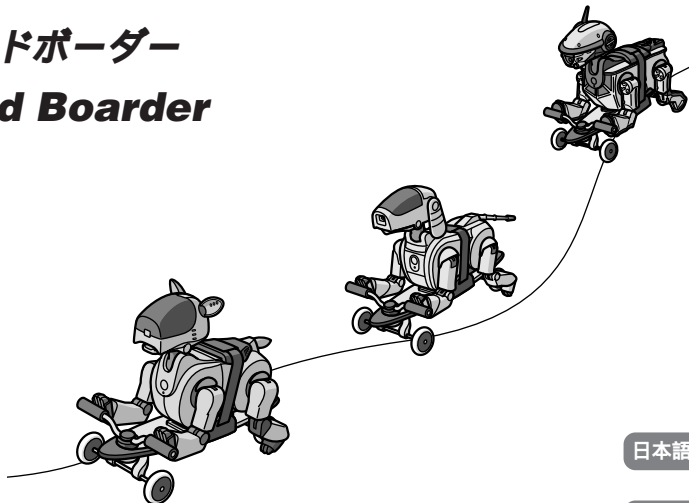


AIBO スピードボーダー *AIBO Speed Boarder*

ユーザーガイド
User's Guide



日本語

English





目次

はじめに(日本モデルをご購入のお客様へ).....	4
各部の名称	5
準備する	7
ERS-110/111	7
ERS-210シリーズ/220シリーズ.....	10
さあ、走らせてみよう!	13
あなたの声で走らせてみよう (ERS-210シリーズ/220シリーズのみ).....	14
ピンクボールで走らせてみよう	15
サウンドコマンダーで走らせてみよう	16
音のする方向に走らせてみよう(ERS-110/111のみ).....	18
ルートを記憶して再現走行	20
サウンドコマンダーの「ゲーム専用方式」で再現走行	21
センサーを使って再現走行 (ERS-210シリーズ/220シリーズのみ).....	23
ちょっと楽しいこと	26
AIBOのパフォーマンスを見る	26
頭をさわると	27
しばらくそっとしておく	27
テールタッチセンサーを押すと(ERS-220のみ).....	27
AIBOが動かなくなったら・・・	28
「AIBO スピードボーダー」の“メモリースティック”を取り出す	29
サウンドコマンダー早見表	30
使用上の注意	33

- AIBO本体の取り扱い(各部名称、各種設定、“メモリースティック”の取り付けかた、使用上の安全の注意事項など)については、AIBO本体に付属の取扱説明書をご覧ください。
- AIBO スピードボードの取り扱い(AIBOの取り付けかた、使用上の安全の注意事項など)については、AIBO スピードボードに付属の取扱説明書をご覧ください。

お使いになる前に、付属のソフトウェア使用許諾契約書をお読みください。

- 権利者の許諾を得ることなく、ソフトウェアおよび取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、およびソフトウェアを賃貸することは、著作権法上禁止されています。
- 本書に記載されている以外の方法によってご使用になられたことによる不都合につきましては、当社は一切その責任を負いません。
- 付属のソフトウェアは、指定された装置以外には使用できません。
- 付属のソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

“AIBO”とAIBOロゴ 、“メモリースティック”(“Memory Stick”)と“”
“**MEMORY STICK**”、“AIBO スピードボード”(“AIBO Speed Board”)と“AIBO スピードボーダー”(“AIBO Speed Boarder”)はソニー株式会社の商標または登録商標です。なお、本文中では“TM”は明記していません。

インターネット上でも情報をご覧になることができます。

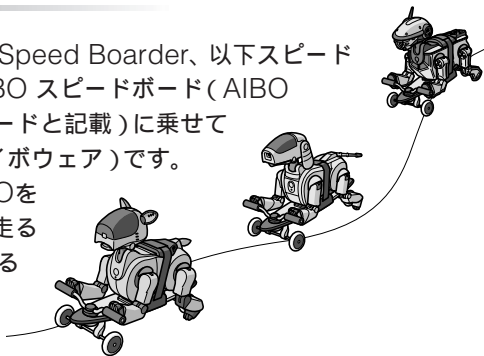
<http://www.aibo.com/>



はじめに(日本モデルをご購入のお客様へ)

AIBO スピードボーダー (AIBO Speed Boarder、以下スピードボーダーと記載) は、AIBOをAIBO スピードボード (AIBO Speed Board、以下スピードボードと記載) に乗せて走らせるためのAIBO-ware (アイボウェア) です。

あなたの声やピンクボールでAIBOをナビゲーションしたり、AIBOが走るルートを記憶させて再現走行させることができます。



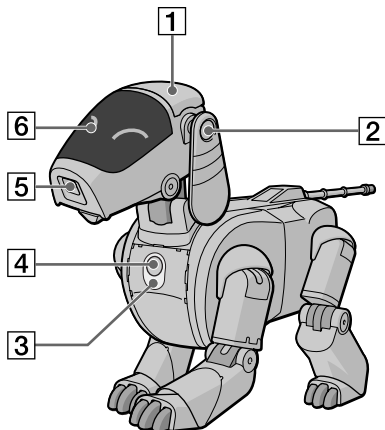
ご注意

- 本ソフトウェアは、スピードボード以外ではご使用になれません。
- 本ソフトウェアで活動するAIBOは、常にあなたが遊んでくれるのを待っています。声や音、ピンクボールなどによる刺激を受けない場合、AIBOは何もしません。また、自立行動や学習機能はなく、成長もしません。
- 屋外で使用しないでください。特に斜面などでは絶対に使わないでください。事故や故障の原因となります。
- フローリング等、かたい床で遊ぶことをおすすめします。カーベットの床などで走行させた場合、スピード感が出ません。
- 走行中に、ハンドルを無理に動かさないでください。走行に支障が出たり、破損の原因となります。
- スピードボードに上から無理に力をかけないでください。走行に支障が出たり、破損の原因となります。
- 使用中は、目の届く範囲で遊んでください。離れるときには、必ずAIBOを活動停止状態にしてください。



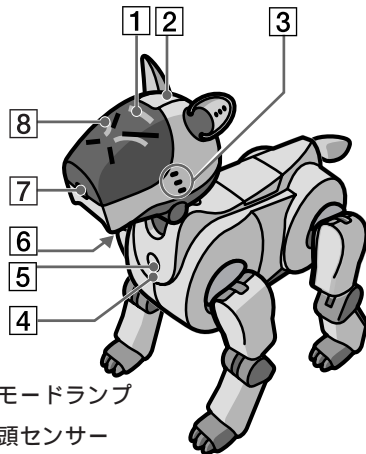
各部の名称

ERS-110/111



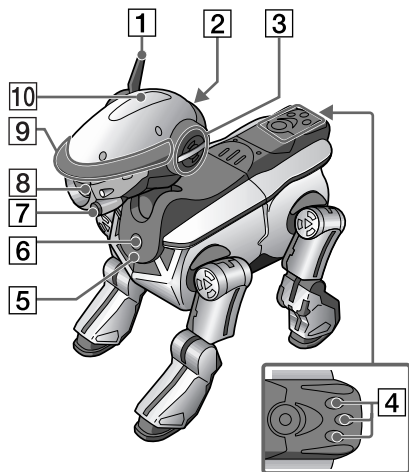
- 1 タッチセンサー
- 2 ステレオマイク(左右)
- 3 胸ランプ
- 4 ポーズ(一時停止)ボタン
- 5 カラーカメラ
- 6 目ランプ

ERS-210シリーズ



- 1 モードランプ
- 2 頭センサー
- 3 ステレオマイク(左右)
- 4 胸ランプ
- 5 ポーズ(一時停止)ボタン
- 6 あごセンサー(のど元の突起)
- 7 カラーカメラ
- 8 目ランプ

ERS-220シリーズ



- 1 ヘッドタッチセンサー
- 2 モードランプ
- 3 ステレオマイク(左右)
- 4 テールタッチセンサー(3つ)
- 5 動作ランプ
- 6 ポーズ(一時停止)ボタン
- 7 フェイスタッチセンサー
- 8 カラーカメラ
- 9 フェイスサイドランプ
- 10 リトラクタブルヘッドライト



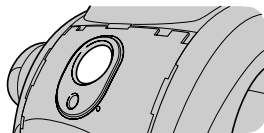
準備する

AIBOが、「AIBO スピードボーダー」で活動するように準備します。

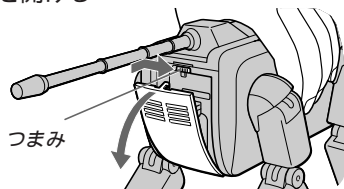
- ERS-110/111 → このページ
- ERS-210シリーズ/220シリーズ → 10ページ

ERS-110/111

- 1** 胸のポーズ(一時停止)ボタンが押し込まれている(約1mm)ことを確認する



- 2** AIBOを上からしっかり持ち、後部のふたを開ける
つまみを横にスライドさせると開きます。

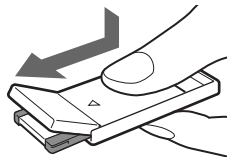


ご注意

- AIBOを持ち上げるときは、胴体以外をつかまないでください。
- 手が小さな方は、すべりやすいのでご注意ください。
- 腹部の充電端子には、直接手で触れないでください。接触が悪くなります。

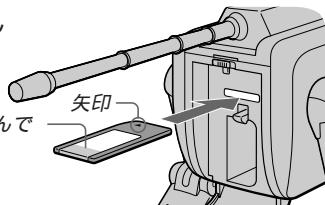
3 “メモリースティック”をケースから取り出す

◀マークの方向にスライドする



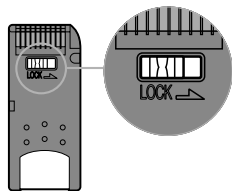
4 “メモリースティック”を、ラベル面を上にして矢印の方向に差し込む

ラベルの色の部分まで差し込んでください。

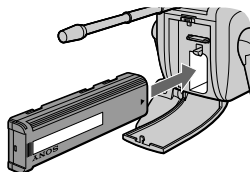


ご注意

- “メモリースティック”の向きに注意してください。
誤った向きで入れると、“メモリースティック”やAIBOを傷めることがあります。
- “メモリースティック”の誤消去防止スイッチを「LOCK」にしないでください。走行ルートの記憶ができなくなります。



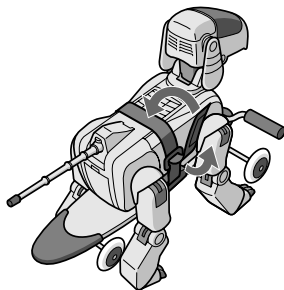
5 充電済みのバッテリーを、「カチッ」と音がするまで差し込み、ふたを閉める



6 スピードボードの取扱説明書を参照してAIBOをスピードボードに乗せ、固定する

ご注意

アダプターの取り付けや、AIBOの乗せかたにはいくつかの注意点があります。必ずスピードボードの取扱説明書を参照してください。



AIBOの腹部とスピードボードの凹凸を合わせて乗せ、前後にゆずっても動かないことを確認してから固定します。

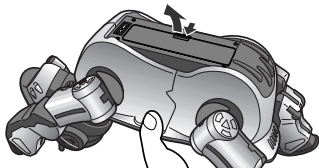
7 胸のポーズボタンを押し戻す

胸ランプが緑色に点灯し、起動時の音楽終了後、約20秒たつとAIBOが自分から動き始めます。

ERS-210シリーズ/220シリーズ

ERS-220のイラストで説明しています。

1 AIBOの胴体を上からしっかり持ち、裏返してふたを開ける

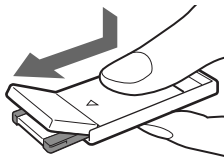


ご注意

- AIBOを持ち上げるときは、胴体以外をつかまないでください。
- 手が小さな方は、すべりやすいのでご注意ください。
- 腹部の充電端子には、直接手で触れないでください。接触が悪くなります。

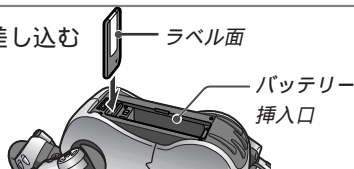
2 “メモリースティック”をケースから取り出す

◀マークの方向にスライドする



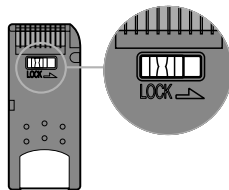
3 “メモリースティック”の向きを確認し、差し込む

マークを下にし、ラベル面をバッテリー挿入口の方に向けて「カチッ」と音がするまで差し込む。



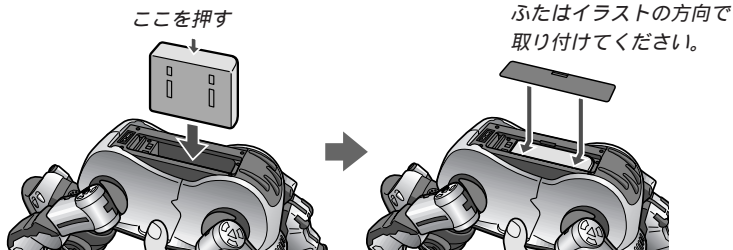
ご注意

- “メモリースティック”の向きに注意してください。
誤った向きで入ると、“メモリースティック”やAIBOを傷めることがあります。
- “メモリースティック”の誤消去防止スイッチを「LOCK」にしないでください。走行ルート of 記憶ができません。



4 バッテリーの向きを確認して差し込み、ふたを閉める

コネクター部を下にして、「カチッ」と音がするまで差し込む。



5 バッテリーを充電する

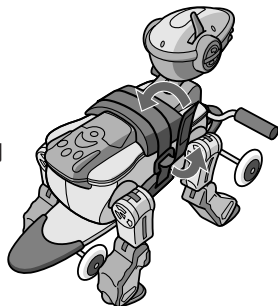
バッテリーの充電方法については、AIBO本体の取扱説明書をご覧ください。

6 スピードボードの取扱説明書を参照してAIBOをスピードボードに乗せ、固定する

ご注意

アダプターの取り付けや、AIBOの乗せかたにはいくつかの注意点があります。必ずスピードボードの取扱説明書を参照してください。

AIBOの腹部とスピードボードの凹凸を合わせて乗せ、前後にゆずっても動かないことを確認してから固定します。



7 胸のポーズボタンを押す

胸ランプ(ERS-210シリーズ) / 動作ランプ(ERS-220シリーズ) が緑色に点灯し、AIBOが自分から動き始めます。

さあ、これであなたのAIBOはスピードボーダーに変身です！



さあ、走らせてみよう！

AIBOを走らせるには、次の方法があります。

- あなたの声で走らせてみよう(14ページ)
- ピンクボールで走らせてみよう(15ページ)
- サウンドコマンダーで走らせてみよう(16ページ)
- 音のする方向に走らせてみよう(18ページ)

走らせる前に

スピードボードで走行中に、AIBOが転倒したり、抱き上げられたり、関節に何かをはさみ込んだりすると、安全のために脱力します。

この状態からAIBOを復帰させるには、すべての脚を下に伸ばした後、次のセンサー操作をします。

- ERS-110/111 → タッチセンサーを3秒以上押す
- ERS-210シリーズ → 頭センサーを3秒以上押す
- ERS-220シリーズ → ヘッドタッチセンサーを、前または後ろに3秒以上倒す

あなたの声で走らせてみよう (ERS-210シリーズ / 220シリーズのみ)

AIBOの正面から、大きな声で話しかけてください。

言葉	AIBOの動作
「あいぼ」「おいで」など・・・	声のする方向(直進 / 左右)に走る ^{1*}
みぎ / ひだり	左右に走る
ぜんしん / すすめ	前進する
ばっく / ばっくおーらい	バックする
はやく	進む距離が長くなる ^{2*}
ゆっくり	進む距離が短くなる
おおきくかいてん	曲がるとき、大回りに走るようになる ^{3*}
ちいさくかいてん	曲がるとき、小回りに走るようになる ^{3*}
れんぞくきっく	1度に2回連続キック ^{4*}

*1 この機能のみ、ERS-110/111でも有効です。ERS-110/111の場合、あらかじめサウンドコマンダーによる設定が必要です。「音のする方向に走らせてみよう」(18ページ)をご覧ください。

*2 バックしているときは変わりません。また、カーペットなどの床では、違いがわかりません。

*3 はじめに「おおきくかいてん」または「ちいさくかいてん」と話しかけたあと、「みぎ」または「ひだり」と話しかけてください。

*4 連続キックをやめたいときは、「はやく」または「ゆっくり」と話しかければ、1度に1回のキックに戻ります。

AIBOに話しかけるときは

- AIBOの周囲が騒がしいと言葉をうまく聞き取れません。静かな環境で話しかけてください。
- 発音が不明瞭な言葉はうまく聞き取れないことがあります。
- AIBOが音を出しているときや動いているときには、聞き取れません。

? AIBOが勝手に走ってしまう、声とは反対方向に走ってしまう

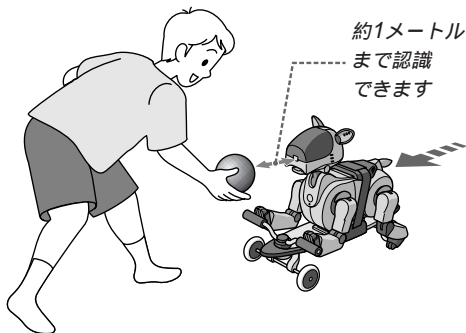
- AIBOの正面から話しかけてください。
- 大きな音がすると、音のする方向へ走り出すことがあります。
- AIBOの近くに壁などの障害物がある場合、音が反射して反対方向に走ることがあります。

ピンクボールで走らせてみよう

AIBOのカラーカメラ（前方）にピンクボールを近づけ、ゆっくりと動かします。

AIBOがピンクボールを追いかけて走ります！

ピンクボールを見失うと、AIBOはしばらく首を動かして探し、それでも見つけれなかったときはピンクボールを追うのをやめます。



? AIBOが勝手に走ってしまう

周囲に赤やピンク色の物があると、ピンクボールだと思って走ることがあります。

サウンドコマンダーで走らせてみよう




サウンドコマンダー(ERS-110/111の付属品)のコマンドにしたがって走ります。
(ERS-210シリーズ/220シリーズも、サウンドコマンダーの指示で走ります。)

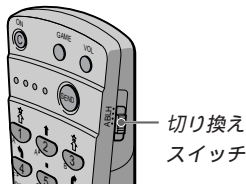
サウンドコマンダーでAIBOに指示できることは、「サウンドコマンダー早見表」(30ページ)にも一覧でまとめてあります。

1 サウンドコマンダーの ボタンを押し、電源を入れる

サウンドコマンダーのコマンダー操作表示ランプ(以下、ランプと記載)がすべて点灯します。(「コマンド番号方式」になります。)

2 AIBOとサウンドコマンダーのコマンドタイプを合わせる

サウンドコマンダーの切り換えスイッチを「A」
(低音)または「B」(高音)に合わせ、AIBOに
   の順に聞かせます(AIBOの現在の
コマンドタイプが分からない場合も、この操作を
行ってください)。



詳しくは、ERS-110/111に
付属のオペレーションマニ
ュアルを参照してください。



AIBOのステレオ
マイク(耳元)の
近くで操作する

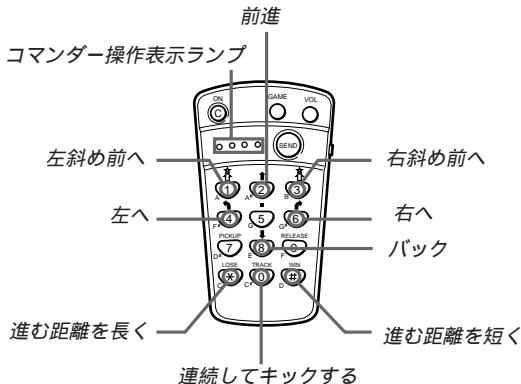
ヒント

AIBOは、高音(B)の方が聞き取りやすい傾向にあります。

3 サウンドコマンダーの ボタンを押す


サウンドコマンダーが「ゲーム専用方式」に切り換わり、サウンドコマンダーのランプがすべて点滅します。

4 AIBOにコマンドを聞かせて、走らせる



「コマンド番号方式」でもAIBOを操作することができます。詳しくは、「サウンドコマンダー早見表」(30ページ)をご覧ください。

? AIBOが走らない

- サウンドコマンダーの  ボタンを押して音量を調節するか、AIBOに聞こえるように、サウンドコマンダーをAIBOのステレオマイク(耳元)に近づけてみてください。
- AIBOとサウンドコマンダーのコマンドタイプが合っていない場合、AIBOは走りません(16ページ)。

音のする方向に走らせてみよう(ERS-110/111のみ)

大きな音がすると、その方向に走るように設定することができます。

1 サウンドコマンダーの ボタンを押し、電源を入れる

サウンドコマンダーのランプがすべて点灯します。(「コマンド番号方式」になります。)

2 AIBOのステレオマイク(耳元)にコマンダーを近づけて、 の順に聞かせる

緑の目ランプが点滅したら、音の方向に走る設定は完了です。

緑の目ランプが点滅している間は、サウンドコマンダーからのコマンドを受け付けなくなります。タッチセンサーを押すか、ピンクボールを見せると、緑の目が点滅しなくなり、音のする方向へ走らない設定になります。

3 AIBOのステレオマイクの近くで、話しかけたり手をたたいたりする

AIBOは、音のする方向へ走ります。

次のような場合、AIBOは音のする方向に走るのを中止します。

- 持ち上げられた
- 転倒した
- 関節に何かをはさみ込んだ

この場合、タッチセンサーを3秒以上押して復帰させた後、もう一度

   と聞かせて音の方向に走る設定をしてください。

ご注意

「左」「右」などの言葉の意味は理解できず、声のする方向へ走ります。

4 遊び終わったら、タッチセンサーを押すか、ピンクボールを見せる

緑の目が点滅しなくなり、音のする方向へ走らない設定になります。



ルートを記憶して再現走行

AIBOに走るルートを記憶させて、走行を再現させることができます。一度記憶したルートは、別のルートを記憶させるまでは何度でも再現走行させることができます。

ご注意

- AIBOは走行以外の動作は記憶しません。
- 記憶できるルートは1つです。複数のルートは記憶できません。

次のような場合、AIBOはルート記憶や再現走行を中止します。ただし、中止するまでのルートの記憶は残ります。残った記憶は、別のルートを記憶させれば上書きされて消えます。

- 障害物(ピンクボールを追っているときは、検出できません)があった
- 持ち上げられた
- 転倒した
- 関節に何かをはさみ込んだ

この場合、次のセンサー操作でAIBOを復帰させた後、ルート記憶(21ページの手順3から)や再現走行(23ページの手順4から)をやり直してください。

- ERS-110/111 → タッチセンサーを3秒以上押す
- ERS-210シリーズ → 頭センサーを3秒以上押す
- ERS-220シリーズ → ヘッドタッチセンサーを、前または後ろに3秒以上倒す

サウンドコマンダーの「ゲーム専用方式」で再現走行

サウンドコマンダーでAIBOに指示できることは、「サウンドコマンダー早見表」(30ページ)にも一覧でまとめられています。

ルートを記憶

1 サウンドコマンダーの ボタンを押し、電源を入れる

サウンドコマンダーのランプがすべて点灯します。(「コマンド番号方式」になります。)

2 ボタンを押し

サウンドコマンダーが「ゲーム専用方式」に切り換わり、サウンドコマンダーのランプがすべて点滅します。

3 AIBOのステレオマイク(耳元)にサウンドコマンダーを近づけて、 ボタンを押し

ERS-110/111 → 赤の目ランプが点滅したら準備完了です。

ERS-210シリーズ/220シリーズ → モードランプが点灯したら準備完了です。

4 「さあ、走らせてみよう！」(13～19ページ)の操作にしたがって、AIBOを走らせる

ご注意

ERS-110/111で、音のする方向に走らせる場合は、ルートの記憶ができません。


AIBOは方向を記憶しながら走ります。最大50コマンドの指示を記憶します。

途中でルートの記憶をキャンセルするときは

ERS-110/111 → タッチセンサーを3秒以上押す

ERS-210シリーズ → 頭センサーを3秒以上押す

ERS-220シリーズ → ヘッドタッチセンサーを前または後ろに3秒以上倒す

記憶容量がいっぱいになるか、 ボタンを押すとAIBOは止まり、ランプが消えます。

これでAIBOはルートを記憶しました！


さあ、再現走行させてみましょう。

再現走行してみよう

1 AIBOを、ルート記憶をスタートしたときと同じ位置に置く

2 サウンドコマンダーの  ボタンを押し、電源を入れる

サウンドコマンダーのランプがすべて点灯します。(「コマンド番号方式」になります。)

3  ボタンを押す

サウンドコマンダーが「ゲーム専用方式」に切り換わり、サウンドコマンダーのランプがすべて点滅します。

4 AIBOのステレオマイク(耳元)にサウンドコマンダーを近づけて、⑤ ボタンを押す

AIBOが記憶したルートを再現走行します。

再現走行中は、話しかけたり、ピンクボールを見せたりしても反応しません。

途中で再現走行を止めるときは

ERS-110/111 → タッチセンサーを押す

ERS-210シリーズ → 頭センサーを押す

ERS-220シリーズ → ヘッドタッチセンサーを前または後ろに倒す

センサーを使って再現走行 (ERS-210シリーズ/220シリーズのみ)

センサーでルートを記憶

ご注意

あごセンサー、またはフェイスタッチセンサーを押すときは、AIBOの頭の横から手を伸ばして押してください。頭の正面から手を伸ばすと、障害物と判断し、AIBOがバックしてしまうことがあります。

- 1 ERS-210シリーズ → あごセンサーを3秒以上押す
ERS-220シリーズ → フェイスタッチセンサーを3秒以上押す
目ランプまたはフェイスサイドランプがすべて点灯します。

-
- 2** ERS-210シリーズ → あごセンサーを押す
ERS-220シリーズ → フェイスタッチセンサーを押す
モードランプが点灯したら、準備完了です。
-

3 「さあ、走らせてみよう！」(13～19ページ)の操作にしたがって、AIBOを走らせる

AIBOは方向を記憶しながら走ります。

途中でルートの記憶をキャンセルするときは

ERS-210シリーズ → 頭センサーを3秒以上押す

ERS-220シリーズ → ヘッドタッチセンサーを前または後ろに3秒以上倒す

記憶容量がいっぱいになるか、あごセンサー(ERS-210シリーズ)またはフェイスタッチセンサー(ERS-220シリーズ)を3秒以上押すとAIBOは止まり、ランプが消えます。

これでAIBOはルートを記憶しました！記憶したルートは、別のルートを記憶させるまでは何度でも再現走行できます。

さあ、再現走行させてみましょう。

センサーで再現走行

1 AIBOを、ルート記憶をスタートしたときと同じ位置に置く

-
- 2** ERS-210シリーズ → あごセンサーを3秒以上押す
ERS-220シリーズ → フェイスタッチセンサーを3秒以上押す
目ランプまたはフェイスサイドランプがすべて点灯します。
-

- 3** ERS-210シリーズ → 頭センサーを押す
ERS-220シリーズ → ヘッドタッチセンサーを前または後ろに倒す押す
AIBOが記憶したルートを再現走行します。
再現走行中は、話しかけたり、ピンクボールを見せたりしても反応しません。

途中で再現走行を止めるときは

- ERS-210シリーズ → 頭センサーを押す
ERS-220シリーズ → ヘッドタッチセンサーを前または後ろに倒す
-



ちょっと楽しいこと

AIBOのパフォーマンスを見る

いろいろな走行パフォーマンスを見せてくれます。ゲームや、お披露目の際におすすめです。

パフォーマンス	AIBOに指示する方法	
	110/111 (サウンドコマンダー)	210シリーズ/220シリーズ (話しかけてください)
ルーレット 右に回転	  	「るーれっと」
ダッシュ 勢いよく直進	—	「だっしゅ」/「だっしゅして」
スラローム 直進の後、左右に蛇行	—	「すらろーむ」
AIBOの言葉変更	  	「おとかえて」

— : ERS-110/111では指示できません。

頭をさわると

さまざまなモーションで応えます。

ERS-110/111 → タッチセンサーを押す

ERS-210シリーズ → 頭センサーを押す

ERS-220シリーズ → ヘッドタッチセンサーを前または後ろに倒す

しばらくそっとしておく

モーションパフォーマンスをしたり、自分で好きな方向に走ったりします。

テールタッチセンサーを押すと(ERS-220のみ)

リトラクタブルヘッドライトが点灯します。



AIBOが動かなくなったら・・・

関節から力を抜き、警告音が鳴る(ERS-110/111) または警告音が鳴ってモードランプが点滅している(ERS-210シリーズ/220シリーズ)

次のような原因が考えられます。

- スピードボードに乗せたままAIBOを抱き上げた。
- 脚や首に何かを挟み込んだ。
- 転倒した。

復帰させるには、AIBOに乗せたままスピードボードを床に置き、AIBOのすべての脚を下に伸ばした状態にしてから、

ERS-110/111 → タッチセンサーを3秒以上押す

ERS-210シリーズ → 頭センサーを3秒以上押す

ERS-220シリーズ → ヘッドタッチセンサーを前または後ろに3秒以上倒す

胸ランプ(ERS-110/111/210シリーズ)または動作ランプ(ERS-220シリーズ)が消えている

- バッテリーが切れています。充電するか、充電済みのバッテリーと交換してください
- AIBOが活動中にステーション(ERS-110/111)またはエナジーステーション(ERS-210シリーズ/220シリーズ)に乗せると、活動停止状態になり、充電を開始します。



「AIBO スピードボーダー」の“メモリースティック”を取り出す

AIBOから“メモリースティック”を取り出す際には、必ず胸のポーズボタンを押して、活動停止状態にしてから操作してください。

ERS-110/111

ふたを開け、“メモリースティック”アクセスランプが消えていることを確認してから、“メモリースティック”を取り出してください。

ERS-210シリーズ/220シリーズ


ふたを開け、バッテリーバックロック表示が白くなっていることを確認してから、“メモリースティック”を軽く1回押して取り出してください。





サウンドコマンダー早見表

次の表は、サウンドコマンダーでAIBOに指示できることの一覧です。
はじめにサウンドコマンダーの操作方式を、「ゲーム専用」または「コマンド番号」に切り換えます。

コマンド番号方式： サウンドコマンダーの電源ON直後の状態です。サウンドコマンダーのすべてのランプが点灯します。

ゲーム専用方式： サウンドコマンダーの電源ON後、 ボタンを押した状態です。サウンドコマンダーのすべてのランプが点滅します。

操作方式	ボタン	AIBOへの指示
ゲーム専用		直進
		バック
		左へ(大回りで走る)
		右へ(大回りで走る)
		左へ(小回りで走る)
		右へ(小回りで走る)
		進む距離を長く
		進む距離を短く
		連続してキックする
		走行ルートの記憶スタート
		走行ルートの記憶ストップ
		サウンドコマンダーで記憶したルートの再現走行

操作方式	ボタン	AIBOへの指示
コマンド番号	  	音のする方向へ走る設定ON* ¹
	  	ルーレット(右回転)* ¹
	  	AIBOの言葉変更* ¹
	  	直進
	  	バック
	  	左へ(大回りで走る)
	  	右へ(大回りで走る)
	  	左へ(小回りで走る)
	  	右へ(小回りで走る)
	  	進む距離を長く
	  	進む距離を短く

*¹ ERS-210シリーズ / 220シリーズでは、操作できません。

操作方式	ボタン	AIBOへの指示
コマンド番号		1度に2回連続キック*2
		走行ルートの記憶スタート
		走行ルートの記憶ストップ
		記憶したルートの再現走行
		AIBOのコマンドタイプをサウンドコマンダーに合わせる
		AIBOのコマンドタイプを「A」にする
		AIBOのコマンドタイプを「B」にする
		AIBOの音量を下げる*1
		AIBOの音量を上げる*1

*1 ERS-210シリーズ / 220シリーズでは、操作できません。

- *2 ● 硬い床の上では連続キックを指示しないでください。障害物に衝突し、AIBOや周囲の物品を破損することがあります。
- 連続キックから1回キックに戻したいときは、 (進む距離を長く) または (進む距離を短く) と聞かせます。

ご注意

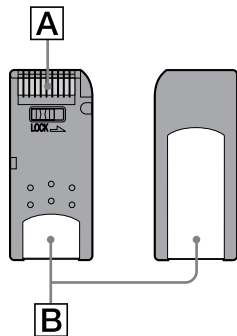
サウンドコマンダーで連続して指示すると、認識できなかったり、正しく動作しないことがあります。



使用上の注意

“メモリースティック”に記録されているデータなどを保護するため、次のことにご注意ください。

- “メモリースティック”は、パソコンやビデオカメラのデータ保存用など、AIBO以外の用途には使用しないでください。AIBOの故障の原因となります。
- 端子部[A]は手や金属で触れないでください。
- 静電気や電氣的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合、記録したデータが消えたり壊れたりすることがあります。
- ラベルの貼り付け部[B]には、専用ラベル以外を貼らないでください。AIBOスピードボーダーのAIBO-ware “メモリースティック”には、工場出荷時にラベルが貼られています。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 動作中のAIBOから“メモリースティック”を抜くときは、ポーズボタンを押して、“メモリースティック”アクセスランプが消えている(ERS-110/111) またはバッテリーパックロック表示が白くなっている(ERS-210シリーズ/220シリーズ)ことを確認してから抜いてください。
- 水にぬらさないでください。



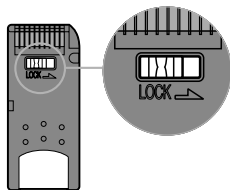
- 以下のような場所でのご使用や保存は避けてください。
 - － 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
 - － 直射日光のあたる場所
 - － 湿気の多い場所や腐食性のある場所
- 持ち運びや保管の際は、付属の収納ケースに入れてください。
- ERS-310シリーズ、ERS-31Lでは、AIBOスピードボーダーは使用できません。
- AIBOスピードボーダーは、AIBOプログラミング“メモリースティック”を使用しています。
- 本ユーザーガイドに記載されている以外の方法によってご使用になられたことによる不都合につきましても、当社は一切その責任を負いません。
- ソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

AIBO-ware“メモリースティック”とは？

AIBOで実行できるアプリケーションソフトが書き込まれたAIBO専用“メモリースティック”です。

ご注意

“メモリースティック”の誤消去防止スイッチを「LOCK」にしないでください。AIBOがルートを記憶できなくなります。



For the Purchaser of the AIBO Speed Board Sold Outside Japan

Notice to Users

©2002 Sony Corporation All rights reserved. This manual and the software described herein, in whole or in part, may not be reproduced, translated or reduced to any machine-readable form without prior written approval.

EXCEPT AS SPECIFICALLY SET FORTH IN THE END-USER LICENSE AGREEMENT, SONY CORPORATION PROVIDES THIS MANUAL, THE SOFTWARE AND THE OTHER INFORMATION CONTAINED HEREIN “AS IS” WITH NO WARRANTY AND HEREBY EXPRESSLY DISCLAIMS ANY IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY NONINFRINGEMENT OR FITNESS FOR ANY PARTICULAR PURPOSE WITH REGARD TO THIS MANUAL, THE SOFTWARE, OR SUCH OTHER INFORMATION. IN NO EVENT SHALL SONY CORPORATION BE LIABLE FOR ANY INCIDENTAL, CONSEQUENTIAL, OR SPECIAL DAMAGES, WHETHER BASED ON TORT, CONTRACT, OR OTHERWISE ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THIS MANUAL, THE SOFTWARE, OR OTHER INFORMATION CONTAINED HEREIN OR THE USE THEREOF.

THIS DOES NOT AFFECT YOUR STATUTORY RIGHTS.

SONY DOES NOT SEEK TO AVOID LIABILITY FOR DEATH OR PERSONAL INJURY CAUSED BY NEGLIGENCE.

Sony Corporation reserves the right to make any modification to this manual or the information contained herein at any time without notice.

This product contains software owned by Sony Corporation and licensed from third parties. Use of such software is subject to the terms and conditions of license agreements enclosed with this product. Software specifications are subject to change without notice and may not necessarily be identical to current retail versions.

Before using this software, please read the accompanying End-User License Agreement which governs use of this software.

- This software or document is protected by copyright, and distributed under licenses restricting its use, copying, and distribution. No part of this software or document may be reproduced in any form by any means and rental of this software may not be allowed without prior authorization of Sony Corporation.
- Sony Corporation assumes no responsibility for any inconvenience caused by misuse or any use not stated in this document.
- The supplied software cannot be used with any device other than those devices specified herein.
- The specifications of the supplied software are subject to change without notice.

For Customers in the U.S.A.

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Regulatory Information

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

You are cautioned that any changes or modifications not expressly approved in this manual could void your authority to operate this equipment.

For Customers in Europe (Für Kunden in Europa)

CE (EMC) Marking Conformity Remarks

- a) This equipment complies with EN55022.
Class B digital for use in following areas: residential, business, and light-industrial.
- b) This product conforms with the following European Directive:
89/336/EEC (EMC directive)

Hinweise zur Konformität mit dem CE-Zeichen (EMV)



- a) Dieses Gerät entspricht der europäischen Norm EN55022 Klasse B (digital) für die Verwendung in folgenden Gebieten: Wohngebiete, Gewerbegebiete und Leichtindustrialgebiete.
- b) Dieses Gerät erfüllt die folgende europäische Richtlinie:
89/336/EWG (EMV-Richtlinie)



Table of contents

Overview	8
Index to parts and controls	9
Preparing AIBO	10
Guiding AIBO's movements	13
Guiding AIBO by your voice	13
Guiding AIBO by the pink ball	15
Memorizing and recalling a path	16
Memorizing the path	17
Recalling the path	18
Extra fun	19
AIBO's performances	19
When you touch AIBO on the head	19
When you leave AIBO alone for a while	19
When you touch AIBO on the tail sensor (ERS-220 series only)	19
If AIBO stops moving	20
Removing AIBO Speed Boarder "Memory Stick"	21
Notes on use	22

- For more information about AIBO (names of parts, settings, how to insert the “Memory Stick,” safety precautions, etc.), please refer to the AIBO operation manual.
- For more information about AIBO Speed Board (how to attach AIBO to the Speed Board, safety precautions, etc.), please refer to the AIBO Speed Board operation manual.

“AIBO,” the AIBO logo ®, “Memory Stick,” , “**MEMORY STICK**,” “AIBO Speed Board,” and “AIBO Speed Boarder” are trademarks or registered trademarks of Sony Corporation.

In this manual the “™” mark has been omitted.

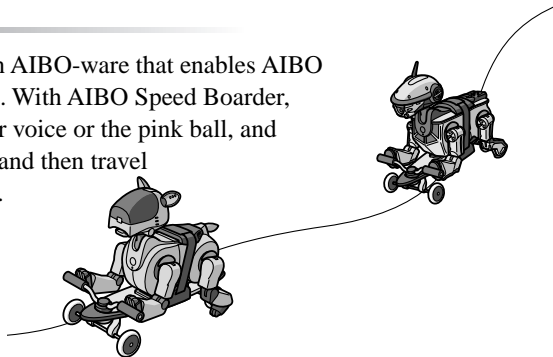
For the latest information on AIBO, go to the following homepage:
<http://www.aibo.com/>

Reproduction in whole or in part without written permission is prohibited.
All rights reserved.



Overview

“AIBO Speed Boarder” is an AIBO-ware that enables AIBO to move on the Speed Board. With AIBO Speed Boarder, AIBO can be guided by your voice or the pink ball, and AIBO can memorize a path and then travel the same path at a later time.



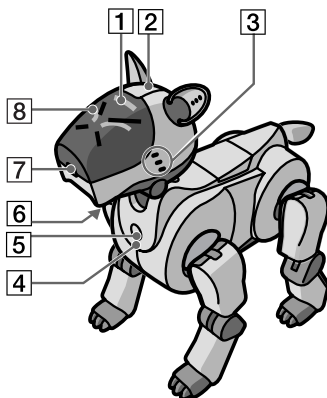
Notes

- The “AIBO Speed Boarder” AIBO-ware is for only use with AIBO on the Speed Board.
- While under control of the AIBO Speed Boarder AIBO-ware, AIBO is always waiting for your command. When you don’t guide AIBO with your voice or the pink ball, AIBO does not memorize or recall the path. With the AIBO Speed Boarder, AIBO is incapable of move in autonomous mode, learn on its own, or develop itself.
- Do not use the Speed Board outdoors, especially on an incline as this may damage AIBO and the Speed Board or result an accident.
- It is recommended that you play with AIBO and the Speed Board on the hard surface such as wooden floor. Placing AIBO and the Speed Board on a carpet may result in slow movement.
- While AIBO is moving on the Speed Board, do not change the direction by forcibly turning the handle. This may stop the board’s movement or damage the board.
- Do not apply a strong physical force on AIBO or the Speed Board. This may stop the board’s movement or damage the board.
- While playing with AIBO on the Speed Board., be sure that AIBO is within your sight. When you leave AIBO, be sure to place it in pause mode.



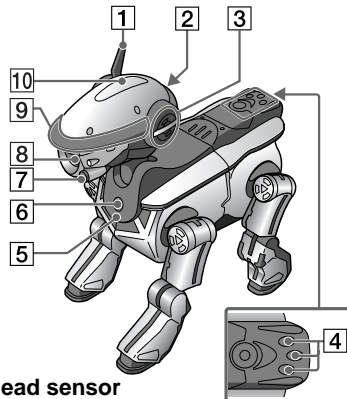
Index to parts and controls

ERS-210 series



- 1** Mode indicator
- 2** Head sensor
- 3** Stereo microphone
- 4** Chest light
- 5** Pause button
- 6** Chin sensor
- 7** Color camera
- 8** Eye lights

ERS-220 series



- 1** Head sensor
- 2** Mode indicator
- 3** Stereo microphone
- 4** Tail sensors (3)
- 5** Chest light
- 6** Pause button
- 7** Face sensor
- 8** Color camera
- 9** Face side lights
- 10** Retractable head light

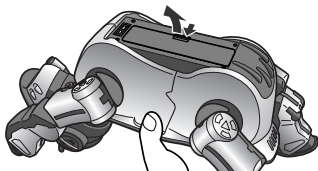


Preparing AIBO

This section describes how to prepare AIBO for control by the “AIBO Speed Border” AIBO-ware.

In this section, the ERS-220 is used as an example.

1 Grasp AIBO securely by the body, turn it upside down, and then open the cover.

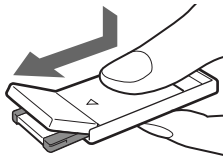


Notes

- Pick up AIBO by the body, not by its extremities.
- Be careful not to drop AIBO while lifting it.
- Do not touch the charging terminal on the underside of AIBO directly with your hand. Doing so may soil the terminal and cause poor contact.

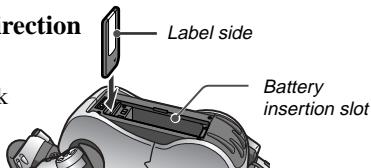
2 Take out the AIBO Speed Border “Memory Stick” from its case.

Slide the cover in the direction of the ◀ mark.



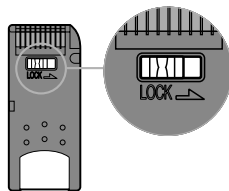
3 Insert the “Memory Stick” in the direction of the arrow with the label side up.

Hold the “Memory Stick” with the ▼ mark downward and the label facing the battery insertion slot. Push it in firmly until it clicks.

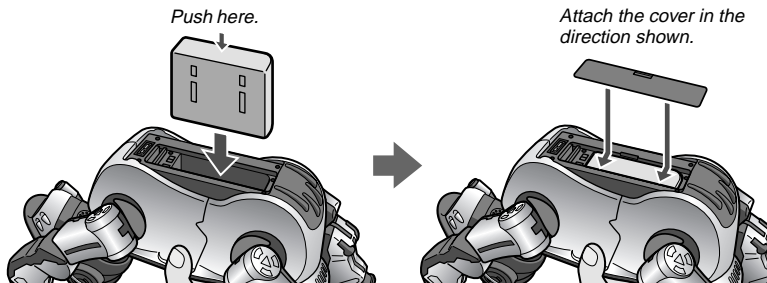


Notes

- Be careful not to insert the “Memory Stick” in the wrong direction. Doing so may damage the “Memory Stick” or AIBO.
- Do not set the safety switch of the “Memory Stick” to LOCK position. If you do so, AIBO will not be able to memorize the path that it travels.



4 Insert the battery pack in the direction of the arrow until it clicks into place, and then replace the cover.



5 Charge the battery pack.

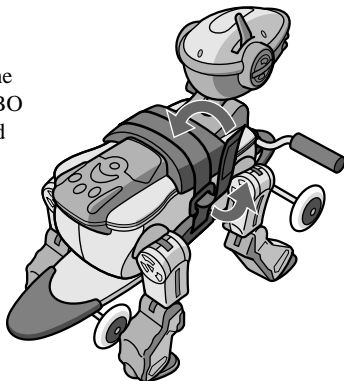
For details on how to charge the battery pack, refer to the operating instructions supplied with your AIBO.

6 Referring to the separate AIBO Speed Board operating instructions, attach AIBO onto the Speed Board, and then secure it with the belt.

Note

There are several precautions on attaching the adapter to the Speed Board and securing AIBO to the board. Refer to the AIBO Speed Board operating instructions.

Match the projecting part on the Speed Board with the concave part on AIBO's stomach area, and then grasp AIBO on the back and move it back and forth to make sure AIBO is securely attached and does not move.



7 Press the pause button on AIBO's chest.

AIBO's chest light lights green and AIBO starts to move by itself.



Guiding AIBO's movements

You can guide your AIBO in the following ways:

- By your voice (this page)
- Using the pink ball (page 15)

If AIBO stops moving

If AIBO has fallen down or has been picked up from the floor, or an object is caught in one of AIBO's joints while it is on the Speed Board, the safety mechanism activates and AIBO's joints become loose. If this occurs, set the Speed Board upright with the wheels facing downward, then stretch down AIBO's four legs, and then do the following to place AIBO back in active mode.

- ERS-210 series → Keep pressing the head sensor for three seconds or more.
- ERS-220 series → Keep pressing the head sensor forward or backwards for three seconds or more.

Guiding AIBO by your voice

Talk loudly and clearly and straight to AIBO.

Voice command	AIBO's action
"AIBO," "Come this way," etc.	Moves towards your voice (forward, left or right).
"Go left" or "Turn left"/ "Go right" or "Turn right"	Turns left or right.
"Go forward"	Goes straight ahead.

Voice command	AIBO's action
"Go back"	Goes backwards.
"Go fast"	Moves a longer distance. ^{1*}
"Go slow"	Moves a shorter distance.
"Wide turn"	Curves widely when going right or left. ^{2*}
"Sharp turn"	Curves sharply when going right or left. ^{2*}
"Continuous mode"	Makes two kicks each time. ^{3*}

1* AIBO does not respond when it is going backwards. The distance which AIBO travels may not increase if it is moving on a carpet.

2* Say "wide turn" or "sharp turn" to AIBO first, and then say "go left (or turn left)" or "go right (or turn right)."

3* To cancel the continuous mode, say "go fast" or "go slow." AIBO makes one kick at a time from that point on.

Notes on talking to AIBO

- AIBO cannot hear you in noisy environment. Try talking to it in quieter place.
- AIBO may not understand words that are not clearly pronounced.
- AIBO cannot hear you while it is making musical tones or moving.

If AIBO moves without a voice command from you or moves in the opposite direction from your voice

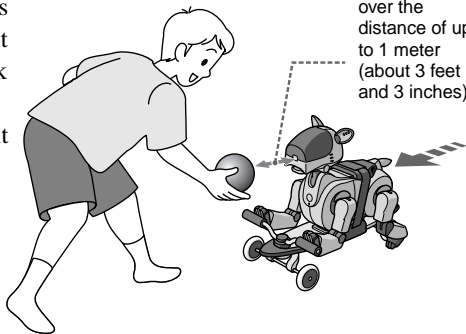
- Speak directly towards AIBO.
- AIBO may move towards a loud sound.
- When an obstacle such as a wall is near AIBO, your voice may be reflected and AIBO may move in the opposite direction.

Guiding AIBO by the pink ball

Bring the pink ball in front of AIBO's nose (color camera), and then move it slowly. AIBO starts to chase the pink ball.

If AIBO loses sight of the pink ball, it looks around for the ball for a while.

If AIBO still cannot find the ball, it stops chasing the pink ball.



AIBO can see the pink ball over the distance of up to 1 meter (about 3 feet and 3 inches).

If AIBO moves without you showing it the pink ball

AIBO may have mistaken a red or pink object for the pink ball and has begun chasing it.



Memorizing and recalling a path

You can make AIBO memorize a path on which it travelled and make it recall the path at a later time. Once AIBO memorizes a path, it can be recalled until you make AIBO memorize another path.

Notes

- AIBO can memorize only its movement. It cannot memorize other things, such as kicks or moving speed.
- AIBO can memorize only one path.

When any of the following conditions exists, AIBO will stop memorizing or recalling a path.

- There is an obstacle in AIBO's path. (AIBO cannot detect obstacles while it is following the pink ball.)
- AIBO has been picked up from the floor.
- AIBO has fallen down.
- An object has been caught in one of AIBO's joints.

If one of the above happens, do the following to place AIBO back in active mode:

- ERS-210 series → Keep pressing the head sensor for three seconds or more.
- ERS-220 series → Keep pressing the head sensor forward or backwards for three seconds or more.

Note, however, that the path up to the point where AIBO stopped memorizing remains in AIBO's memory. The memorized path is replaced with a new one when AIBO memorizes another path.

Memorizing the path

Note

When you touch AIBO on the chin sensor or the face sensor, be sure to reach for the sensor from the side of AIBO. If you reach straight for AIBO's sensor, it may take your hand for an obstacle and move back.

1 ERS-210 series → Press the chin sensor for three seconds or more.

ERS-220 series → Press the face sensor for three seconds or more.

AIBO's eye lights or all of the face side lights light.

2 ERS-210 series → Press the chin sensor.

ERS-220 series → Press the face sensor.

AIBO's mode indicator lights up and it's ready to memorize the path.

3 Do the procedure described in “Guiding AIBO's movements” (page 13 to 15) to make AIBO move.

AIBO memorizes the path as it moves.

To cancel memorizing the path

ERS-210 series → Keep pressing the head sensor for three seconds or more.

ERS-220 series → Keep pressing the head sensor forward or backwards for three seconds or more.

When AIBO's memory reaches its full capacity or when you press the chin sensor (ERS-210 series) or face sensor (ERS-220 series) for more than three seconds, it stops and the mode indicator turns off.

*AIBO has now memorized the path. You can make AIBO recall the same path until it memorizes another path.
Let's make AIBO move!*

Recalling the path

1 Place AIBO at the starting point of the path that it has memorized.

**2 ERS-210 series → Press the chin sensor for three seconds or more.
ERS-220 series → Press the face sensor for three seconds or more.**
AIBO's eye lights or all of the face side lights light red.

3 ERS-210 series → Press the head sensor.

ERS-220 series → Press the head sensor forward or back.

AIBO starts to recall the memorized path.

Note that AIBO does not react to your voice or the pink ball while it is recalling the path.

To cancel recalling the path

ERS-210 series → Press the head sensor.

ERS-220 series → Press the head sensor forward or back.



Extra fun

AIBO's performances

AIBO can perform in a variety of ways to help you facilitate a party or a gathering.

Performance	Voice command
Spinning the wheel (Turns clockwise.)	"Spin the wheel"
Blasting off (Dashes forward.)	"Blast off"
Super slalom (After going forward, zig zags.)	"Super slalom"
Changing AIBO's language	"Voice change" or "Change your voice"

When you touch AIBO on the head

ERS-210 series → Press the head sensor.

ERS-220 series → Press the head sensor forward or back.

AIBO responds with various motions.

When you leave AIBO alone for a while

AIBO shows performances, or starts to move by itself.

When you touch AIBO on the tail sensor (ERS-220 series only)

The retractable head light lights up.



If AIBO stops moving

When AIBO's joints become loose, a beep is emitted, and the mode indicator flashes

One of the following has occurred.

- AIBO has been picked up from the floor while it is on the Speed Board.
- An object is caught in one of AIBO's joints.
- AIBO has fallen down.

If this happens, place AIBO on the floor while it is on the Speed Board, and stretch down AIBO's four legs, and then do the following:

ERS-210 series → Keep pressing the head sensor for three seconds or more.

ERS-220 series → Keep pressing the head sensor forward or backwards for three seconds or more.

If AIBO's chest light has turned off

- The internal battery pack is drained. Charge it or replace it with a fully charged one.
- AIBO enters pause mode and the internal battery starts to charge when it is placed on the energy station while it is in active mode.



Removing AIBO Speed Boarder “Memory Stick”

Be sure to remove the “Memory Stick” only after pressing the pause button on AIBO’s chest to make AIBO pause.

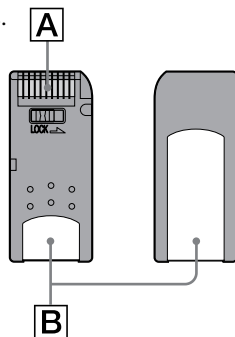
Open the stomach cover, check that the battery pack lock indicator is white, then push the “Memory Stick” lightly to make it pop out, and then remove it.



Notes on use

To protect the saved data on the “Memory Stick,” observe the following:

- The supplied “Memory Stick” contains the AIBO Speed Boarder AIBO-ware. Using it also to save data from personal computers or camcorders, or for anything other than AIBO, may cause damage to AIBO.
- Do not touch terminal [A] with your hand or metal objects.
- When using the “Memory Stick” in a place subject to static electricity or electric noise, the saved data may be erased or broken.
- Do not stick anything other than a dedicated “Memory Stick” sticker in the area indicated by [B]. A sticker has already been attached to the AIBO-ware “Memory Stick” at the factory.
- Do not bend, drop or apply a strong physical shock to the “Memory Stick.”
- Do not disassemble or modify the “Memory Stick.”
- When removing the “Memory Stick” from AIBO, press the pause button to make it pause, and check that the battery pack lock indicator is white, and then remove it.
- Do not let the “Memory Stick” get wet.
- Do not use or store the “Memory Stick” in places subject to:
 - Excessively high temperatures, such as a car parked in the sun
 - Direct sunlight
 - High humidity or corrosive gas



- When carrying or storing the “Memory Stick,” keep it in the supplied case.
- AIBO Speed Boarder is designed exclusively for use with AIBO ERS-210 series and 220 series. It cannot be used with AIBO ERS-310 series and 31L.
- AIBO Speed Boarder uses the AIBO programming “Memory Stick.”
- Sony assumes no responsibility for any malfunctions that may occur as a result of using Party Mascot in a way not specified in this user’s guide.
- The specifications of this software are subject to change without notice.

What is an AIBO-ware “Memory Stick”?

It is a “Memory Stick” produced for exclusive AIBO use, and on which is stored application software that can be executed on an AIBO.

Note

Do not set the safety switch of the “Memory Stick” to LOCK position. If you do so, AIBO will not be able to memorize the path that it travels.

